

<R08-No22：地図編集：問題>

次の 1 ～ 5 の文は、地図投影法について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。 次の 1 ～ 5 の中から選べ。

1. 平面に描かれた地図において、正積の性質と正角の性質を同時に満足させることは、理論上不可能である。
2. 球面上の図形の面積比が地図上で正しく表示される投影法を正積図法という。
3. 正積図法で作成した地図は、世界全体のような広い範囲における植生分布、人口密度などを示すのに適している。
4. 正角図法は、ごく狭い範囲での形状が地球上と地図上とで相似となる図法である。
5. メルカトル図法は正角円筒図法の一つであり、任意の2地点間の最短経路は直線で表される。

